

チュウガタスジシマドジョウのスジは地域差か？それとも個体差か？

頭から尾にかけて走るスジ（縦線）が特徴的なスジシマドジョウは、かつては1つの種とされていました。しかし様々な調査によって、スジシマドジョウには複数の種・亜種が含まれていることがわかり、2012年、スジシマドジョウは11の種・亜種に再分類されました（中島ほか 2012; 日本魚類学会 2012）。

再分類されたスジシマドジョウ類のほとんどは、棲息地にちなんだ標準和名が付けられています。これは、スジシマドジョウの祖先が、各地で独自の進化を遂げたことを示しています（表1）。しかしチュウガタスジシマドジョウだけは、瀬戸内海流入河川に広く分布しているとされ、地域差は指摘されていません。ただ私には、チュウガタスジシマドジョウのスジには、地域差があるように思えるのです。

標準和名	学名	主な旧称
1 サンヨウコガタスジシマドジョウ	<i>Cobitis minamorii minamorii</i> Nakajima, 2012	スジシマドジョウ小型種山陽型
2 トウカイコガタスジシマドジョウ	<i>C. m. tokaiensis</i> Nakajima, 2012	スジシマドジョウ小型種東海型
3 ビワコガタスジシマドジョウ	<i>C. m. oumiensis</i> Nakajima, 2012	スジシマドジョウ小型種琵琶湖型
4 ヨドコガタスジシマドジョウ	<i>C. m. yodoensis</i> Nakajima, 2012	スジシマドジョウ小型種淀川型
5 サンインコガタスジシマドジョウ	<i>C. m. saninensis</i> Nakajima, 2012	スジシマドジョウ小型種山陰型（点小型）
6 チュウガタスジシマドジョウ	<i>C. striata striata</i> Ikeda, 1936	スジシマドジョウ中型種
7 オンガスジシマドジョウ	<i>C. s. fuchigamii</i> Nakajima, 2012	スジシマドジョウ中型種遠賀型
8 ハカタスジシマドジョウ	<i>C. s. hakataensis</i> Nakajima, 2012	スジシマドジョウ中型種博多型
9 アリアケスジシマドジョウ	<i>C. kaibarai</i> Nakajima, 2012	スジシマドジョウ小型種九州型
10 オオガタスジシマドジョウ	<i>C. magnostriata</i> Nakajima, 2012	スジシマドジョウ大型種
11 タンゴスジシマドジョウ	<i>C. takenoi</i> Nakajima, 2016	スジシマドジョウ4倍体性集団丹後型

▲表1. 再分類されたスジシマドジョウ類（中島 2017）

京都府で採取したチュウガタスジシマドジョウは全て、スジがビシッと一本走っていました（写真1）。



▲写真1. 京都府中西部で採取したチュウガタスジシマドジョウ（筆者撮影）

しかし、大阪府で採取したチュウガタスジシマドジョウは、スジがシマドジョウ類のような点列になっていたり、ところどころで途切れた直線になっていたりするものが圧倒的に多く、スジが一直線になっているものはほとんど見られませんでした（写真2）。



▲写真2. 大阪府で採取したチュウガタスジシマドジョウ（筆者撮影）

さらに、岡山県で採取したチュウガタシマドジョウはスジがほぼ一直線ですが、サンヨウコガタスジシマドジョウと一緒に採れており、非常に紛らわしい状態でした（写真3）。